

No.770 January 2021

# ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち

2021

1

No. 770

大雪の合間に  
澄んだ青空



# 新しい年を拓く

## 「コロナ禍後を見据えて」

朝日町長 鈴木浩幸

あけましておめでとございます。

コロナ禍に翻弄された令和2年が終わり、新たに迎えた令和3年が、この逆境を跳ね返し、新たな時代を切り拓く第一歩を踏み出す年となります。心から願っています。

世界中で社会環境・生活環境が激変し、先が見えない不安と閉塞感が、大きく地球上を覆い尽くしている、そんな令和2年でありました。一方、このような時代を経験したということが、地球規模で時代を飛躍させるきっかけになって来るかもしれません。また、人口の極集中の弊害を思い知らされた社会の中、地方における潜在的可能性を町づくりに活かす真の地方創生のスタートとなる年が、令和3年であると思います。

元駐米大使であった加藤良三氏がこんなことを記しておられました。「船が大時化に遭ったとき、船室に籠って休もうとすると、船酔い<sup>ひど</sup>が酷くなる。船酔いを抑える最善の方法は、海が見えるところに立って水平線を見つめ続けることだ。」

コロナ禍という大時化の真ただ中にある今こそ、時代の先頭に立って、荒波の向こうにある未来を見据え、難局に立ち向かう勇氣が必要です。

今、朝日町には、この町を元気にしたいと主体的に活躍している若い町民のみなさんがいます。自分で考え思いを深め勇氣を振り絞って一歩を踏み出す。そこに仲間が集い、語らい、励まし合って協力の輪が広がり、それが大きなうねりとなって、地域を動かし、町を動かしていく。そんな力強い若者のパワーが、いつの時代でも、国づくり、地方を動かし、町に力を与えていったのです。そんな頑張る若いみなさんを、私は心から応援し続けたいと思っています。

コロナ禍により見えてきた新しい社会環境、自然とともに暮らす、より人間性を重視した生き方。都会にはない朝日町ならではの新しい町づくりを若い力とともに築いてまいります。

今年も皆様にとりまして幸せ多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。

# 新型コロナウイルスや災害に負けず 町のさらなる発展を

朝日町議会議長 阿部 為吉

あけましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては晴れやかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。議会を代表して年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス、7月下旬の集中豪雨による自然災害に見舞われるなど、経験したことがない大変な年でした。議会といたしましてもコロナ対応として、いち早く町民のアンケートを実施し、町へ6項目におよぶ要望書を提出いたしました。新しい生活様式の中で、自分がやれることを行い、一日も早く元の生活に戻れますよう願っております。災害の被害に対しましても、町民の負担が少なくなるよう補助事業等による負担軽減をお願いしたところです。

りんご温泉はJ Aさがえ西村山より株式を取得し、町所有の温泉となりました。議会観光交流施設検討特別委員会において、りんご温泉だけでなく、朝日自然観、道の駅りんごの森も含めて総合的に検討すべきと町に対し

て要望書を提出し、6月までに各施設の町の方向性を示してもらうことになっております。

11月に行われた空気神社建立30周年式典において、町は2050年の二酸化炭素の排出量を、実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。改めて空気の大切さを実感し、去る12月議会において空気の日を国民の祝日に制定する意見書を国に対して提出することになりました。

議会といたしましても、町民の幸せ、安全、安心な町づくりのためこれまで取り組んできた施策についてもしっかりと評価、検証をしてみたいです。コロナ対応、観光交流施設、災害、人口減少、少子高齢化等、様々な問題に直面しておりますが、町執行部と議論を交わしてまいります。議員一同、精一杯頑張りたいと思いますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様にとって実り多き年になりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

# 謹賀新年

## 年頭のごあいさつ



# 町長と語ろう 2021 新春特別編

## チャレンジする若者たち

### × 鈴木浩幸町長

このたび5期目に入り新たなスタートを切った鈴木浩幸町長。コロナ禍で社会的環境が大きく変化する中、町が大きく前進するよう強い意志を持って町政運営に努めたいと決意を新たにしています。

そこで今回、「町長と語ろう」特別編として、新たな事業へのチャレンジや、地域の課題を自ら解決しようと行動する若者たちとの座談会を開催しました。昨年策定した「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「希望活動人口（朝日町を愛し、もつといい町にしようがんばる人）の増加」と、「若者たちの地元定着と交流・移住の促進」を実現すべく、今後の目標や若者の定住対策等について意見を交わしました。



◆対談メンバー：(左から) 阪野 正義さん(大町)、登坂 尚高さん(ハツ沼)、鈴木 淳さん(元町)、佐藤 華南さん(小原)、鈴木浩幸町長、斎藤 隆さん(本町)  
◇対談日：12月8日 ◇撮影場所協力：at Lounge (大町)

**町長** 今日では若手で多方面に活躍している方たちとの座談会ということで、日々頑張っているみなさんの「町は俺たちが作っていくんだ」という熱い思いを聞かせていただきたいと思っています。

#### 【テーマ①】 活動を始めたきっかけ

**阪野** 本日の座長を務めます阪野です。まずはみなさんが現在の活動を始めたきっかけとその内容、やってみたい感想をお願いします。

**斎藤** 2013年から6年間、町内で町おこしのためにイベントを手掛けてきましたが、人を楽しませるだけでなく、自分も楽しみたいという気持ちが高まってきました。昨冬にふらっと「at Lounge」に立ち寄って、阪野さんに「遊び場をつくりたいんだ」とつぶやいたのが「遊び場プロジェクト」を立ち上げるきっかけになりました。イベントの企画に伴い「末吉良ボーイズ」を結成。元大久保商店の倉庫を借りて拠点となる「末吉良ベース」を整備しました。子どもたちが駐車場等でスケボー遊びをしていたのを危険だからと取り上げるのはかわいそうだったので、安全で周りに



末吉良ベースに設置されたランプ  
※ランプ…楕円を半分に切ったような形状でスケボーをするための場所。

迷惑をかけない場所が無いなら作るうと思いい、末吉良ベースにメンバーでランプ(右写真参照)を製作しました。「末吉良」は昔の元町の地名で、単純に名前がかっこよかったのと倉庫があるのが元町ということ、そしてなによりもこれまでの歴史を大事にしたいことからネーミングしました。

**阪野** 末吉良(元町)の地に生まれ育った末吉良ボーイズ副代表の鈴木さんの目線はどうですか。

**鈴木** 私が活動に関わるようになったのは、斎藤さんとウチの子どもたち同士との交流がきっかけでした。私はまちづくりとか地域おこし等の観点というよりは、自分たちが面白いと思うことをやっていきたいと思っています。大人たちがやりたい活動に子どもたちを巻き込み、子どもたちも楽しむ。そうやって子どもが大人に憧れを持つよう

な活動を広げていきたいです。また、阪野さんや登坂さんが町内で面白い活動をしていることは知っていました。がこれまで接点はなく、今回の活動を通してつながりが広がり、新たな発見があったりと有意義に感じています。

**町長** 本日、末吉良ベースを見せてもらいました。町を何とか元気にしたい、大人の自分たちが楽しみ、そして子どもたちと一緒に楽しみたいなど、それぞれのみんなの思いが詰まった場所だと感じました。

**阪野** ありがとうございます。続いて佐藤さんお願いします。

**佐藤** 私は関西の専門学校へ行ってそのまま結婚したのですが、母子家庭となり6年前に帰省しました。父がリンゴ農家で、出荷基準に満たず残されるリンゴがもったいない、これを活用したお菓子を作りたいと思ったことが、創業のきっかけです。開業にあ



佐藤さんが経営する「いり豆に華」

たっては、地域の方々から「集まれる場所が欲しい」とか「カラオケがしたい」などの意見を受けて、現在の店舗スタイルになりました。カラオケは世代を問わずに利用者がいるし、常連客もできました。子どもたちがカフェスペースに勉強しに来ることもあり、いろんな形で利用してもらい嬉しく思っています。現在、コロナ禍によりカラオケやカフェスペースは営業を控えざるを得ない状況のため、今日は何かヒントとなるアイデアを教えてください。

**阪野** 続いて登坂さんお願いします。

**登坂** 東京の大学を卒業後、音楽活動をやりたいとの思いから東京に残りたいと親に直談判しました。親からは平日は東京で、土日は実家の若宮寺を手伝うことを条件に許しをもらったのですが、音楽仲間と都内で自主企画をやっていくうちに、自分でも大規模な音楽フェスをやりたいと思うようになりました。実家だと場所代等のコストが抑えられると気づき、企画仲間話していく中で、開催のために必要なものや情報に関するさまざまなつながりが広がりました。地元の友達や先輩後輩の協力もあり、寺フェスは2013年の第1回から2019年まで開催。寺フェス企画にあたっては、





■斎藤隆（本町） 末吉良ボーイズ代表  
遊び場プロジェクトを阪野氏と創設。町観光協会  
事務局員、杉山出身。2児の父。

**斎藤** 私は町外への転出の必要性を感じず34年間町内に住んでいます。以前の職場が寒河江市でも通えましたが、町外に出ようという気持ちにはなりませんでした。一つ思うことは、20代のころに地元の友達と遊んでいた、「やっぱり地元っていいよな」と語り合っていた友達が結婚等を機に町外へ出ていき、生活の基盤を移していることをさびしく思っています。各々の事情により転出しているので仕方ないことですが、朝日町に住んでいても満足できる生活環境で面白いこともできるということを転出していった人たちにみせたい、負けたくないという思いがあります。「朝日町」が好きというのが根底にあるからこそ、こういった思いがでてくるのかと思います。

**阪野** 鈴木さんはどうでしたか。  
**鈴木** 私は10年前まで寒河江市に住んでいました。正直町から出たかったのですが、実家や子どものことを考えた結果、町へ戻ることにしました。暮らしてみると、町について知ることが楽しく、子育てしやすい環境ということもあり、改めて町の良さを感じることができました。ただ、この面積が広い町で西・中・北部とそれぞれの地域で頑張っているのは分かるのですが、児童数も少なくなっているため何とか小学校をひとつにできないものでしょうか。それと町は道路の除雪がきれいですよね。しかし、町外に通勤する中で苦勞することが数多くあります。夢物語ですが、山辺町までトンネルがあれば最高だなと思います。

**佐藤** トンネルが欲しいという声は私の周りでも言われています。田舎で不便なのは変わりませんが、通勤さえカバードできれば物件等は安いので定住にもつながるし、通学の幅も広がります。私は趣味を楽しむために町外へ行きた

**町長** お子さんが居られる方のお話ですので、実際そういった課題に直面しているのだと思います。第6次朝日町総合発展計画と第2次朝日町教育振興計画を平成30年に策定したのですが、5年目の中間年度を目途に学校の在り方について検討する予定となっています。いろいろな地域の保護者の方や年配の方から話をお聞きしたり、子どもたちからも話を聞いたりしながら考えたいと思っています。

**阪野** 県外に在住経験のあるお2人はどうですか。

いと思い、進学と同時に飛び出しましたが、都市部での母子家庭の生活は厳しく、親を頼りに帰ってくるしかありませんでした。独身であれば、こちらには趣味を楽しむ環境が少ないので戻ってきてはいなかったと思います。町に住んでみて感じるのは、子育てには良い環境であるということ。あんなに虫が嫌いだった娘がカエルに触れるまでになりました。また、都市部ではなかなか入れない保育園にも入園できました。ただ、仕事面では不便だと感じます。何かひとつ複合施設があれば良いのかなと思います。道の駅あさひまちは多くの方が特産品の買い物をするために訪れていると思います。ですが、その先にある店舗にお寄りいただくには、相当の工夫が必要と感じています。例えば道の駅に多くのテナントが入っ



■鈴木淳（元町） 末吉良ボーイズ副代表  
遊び場プロジェクトメンバー。団体職員、子どもの  
出生を機に朝日町に戻る。2児の父。



■阪野正義（大町）（一社）希望活動醸成機構代表  
2016年4月から地域おこし協力隊として町に着任。任期終了後、希望活動醸成機構を立ち上げ、町の「空き家バンク」業務の受託、「at Lounge」でカフェを運営。川西町出身、町内在住5年目。



寺フェスの舞台上で歌う登坂さん

他のどのイベントよりも音楽を好きな気持ちでは負けないという自負があります。また、イベントをやれば彼女もできるはずという目標でこれまで頑張ってきました（一同笑）。ここに至るまでの苦勞はいっぱいありましたが、憧れのアーティストが実家で歌い、地元の人が活動を応援してくれる。そして寺フェスを楽しみに全国から来てくれる。大好きな音楽が寺フェスを通



阪野さんが運営し、今回の会場となったカフェ「at Lounge」

**阪野** 私の活動についても少しだけお話しします。地域おこし協力隊任期中から町内の方々と触れ合う中で、いろいろな思いをお聞きし、そんな町内の活動力のある人をサポートしたいと考え「希望活動醸成機構」を設立しました。してつながっていることが嬉しく、私はフェス中感動でずっと泣いているほどです。

社名は希望を持って活動する人たちの思いが育ちやすい土壌づくりをするというところから名づけました。今回の「遊び場プロジェクト」を通して、大人も子どもも楽しめる活動ができており、まず一つ目的が達成できたと感じています。  
**町長** みなさんの活動をお聞きして、やればできるんだということを実感しました。夢が夢で終わるのではなく、想い続けることで達成につながるのだと思います。朝日町のリンゴも栽培を始めてから130年以上経過しました。こういった先輩方が長年積み上げてきたことが、今の「朝日町ブランド」につながっています。朝日町ワインも戦時中からのもので、これもまた積み上げてきたものが花開きました。伝統

的なものの上に成り立つものと、「ゼロ」から新しいものを創るもの。どちらも大切であり、引き継いで後世につながる第一歩を踏み出さなければならぬと思っています。

## 「テーマ②」 若者の地元定着と交流、 移住対策

**阪野** 町では昨年度、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第2期を策定し、私もその策定に参加いたしました。その中の基本目標の一つに「若者たちの地元定着と交流・移住の促進を図る」というのがありますが、みなさんが思う、若者が「住みたい、住み続けたい」と思う町になるために必要なことはどのようなことでしょうか。





■佐藤華南 (小原) 「いり豆に華」店主  
関西の専門学校を卒業して結婚、6年前に帰省して  
雑貨や菓子を販売する「いり豆に華」を開店。現在、  
母子家庭として奮闘中。3児の母。

ていれば、さらに魅力が高まると思います。

**阪野** 先ほどやりたい趣味と話していましたがそれは何でしょうか。

**佐藤** やりたい趣味は舞台鑑賞。それと今はやってないですがコスプレですね。このあたりではそういった大きいイベントがほぼありません。高畠駅前にコスプレスタジオができたようですが、田舎ならではの町の風景を生かした野外ロケができるスタジオがあればと思います。お金を落とすのってやっぱりオタクだと思っんですよ。

**斎藤** オタク文化は強いですよ。先日、とあるゲーム番組の中で山形県出身のりんごアイドルというキャラの声優さんが朝日町を来訪し、野外ロケの動画を配信したところ、数十万人のファ

ンの方が視聴していました。そのロケで、声優さんが道の駅の生絞りリンゴジュースを飲んでる姿を見て、ファンが「これは絶対飲まなきゃいけない」という気持ちになり、それを目的に実際に訪れる方が増えてきています。いわゆる聖地（マンガ・アニメ等の創作物に出てきた現実の場所のこと）化されて観光客が訪れることにつながっているようです。

**阪野** 登坂さんはどうですか。

**登坂** 大きな祭りや伝統行事も継続していつて大事にしつつ、新しい文化を始めて百年後でも後世に残るものができればいいですね。あとは、カヌーランドやりんご温泉の近くにキャンプ場が欲しいですね。というのも後輩から聞いたのですが、カヌーランドで活

**登坂** 僕が東京に住んで感じたのは、東京は住むところじゃないということ。それが良いっていう人ももちろんいますが、隣近所付き合いがなかったりというのが僕の肌には合いませんでした。じゃあなんで僕が朝日町に住んでいるかというと「粋」があったからだと思うんです。若者が少なくなっている中で「こんなことやっいいんだよって」ような粋・気質」を示してあげることが大事なのかなと思います。

この町にいればいろんなことができるんだ、やっいいんだっていうことを若者に感じ取ってほしいです。

**阪野** 私は川西町出身ですが、どうして地元でやらないのって聞かれることがあります。地元だと様々な目や縛り、しがらみがあって、今やっいいように大胆にできないと思っいます。じゃあなんで朝日町なのって言われると、朝日町はいろいろと大胆なチャレンジをしている町という雰囲気がありました。協力隊着任前に訪れた時も、町民のみなさんがいろんなチャレンジをしている姿を見て、そんなところに魅かれたのが協力隊の決め手の一つとなりました。朝日町のみなさんとともに活動して、その気持ちに触れて、もっとこの町で活動していきたいと思っいました。

**町長** ありがとうございます。みなさんからのアイデア、そして「朝日町への愛」を感じることができました。

昨今の全国的な問題として人口減少の進行に伴う地域活動の停滞、人とのつながりが薄くなることが懸念されています。朝日町には、町を何とか元気にしたいと主体的な活動を通して頑張っている町民の方々がたくさんいることに幸せを感じます。みなさんのようなチャレンジをする若者や女性、高齢者等のみなさんの活動を強力に支援し、自信と誇りを持てる朝日町を目指していきたいと決意を新たにしたいところです。

### 【テーマ③】 これからの活動と目標

**阪野** これからの活動予定や町長にぜひ話したいことがありましたらお願いします。

**鈴木** 末吉良ベースの活動を見学に来てくれた近所の人から「良い場所つくったね」といわれたことが嬉しかったんです。この次は、フリーマーケットやマルシェをしてみたいと考えています。子どもたちが遊びに来る場所なので地域で見守るという前提のもと、自分の子だけではなく、よその子も

動している人に宿泊先を訪ねると、大江町の大山自然公園に宿泊する方が大多数だったそうです。だったら近くにそういう場所があればいいのになと思っいます。アクティビティ（活動、体験等のこと）を楽しむ人は、アウトドアが好きな人。アクティビティの環境があるんだから、キャンプ、アウトドアを楽しめる場所が町内にあって宿泊できたらいいと思っんです。それとラスティカさん（送橋）のラフティングへの支援。今夏に体験してきたんですが本当に面白かったです。町にこんなアクティビティがあったんだと気づかされました。今はりんご温泉と連携して入浴券を配布していると聞いたのですが、飲食宿泊部門との連携もどんなやって、町はそれを支援してほしい



ラスティカによる最上川でのラフティングの様子

いです。りんご温泉あたりに受付や発着窓口があれば、もっと利用者が増えるのではないのでしょうか。

**鈴木** アクティビティがあれば他の観光スポットにつながります。ラスティカさんに行った後、りんご温泉で入浴。さっぱりとしたところで、「いり豆に華」に立ち寄ってから道の駅にも立ち寄るルートもできますね。



■登坂尚高 (ハツ沼) 若宮寺副住職  
僧侶をしながら2013年から音楽フェス「寺フェス」を毎年開催。コロナ禍の今年は「ゲリラ花火大会」を実施。

ちゃんと叱れるような場でありたいです。それらをひっくるめて保護者同士のつながりを広げていきたいですね。他にも町には陶芸や画家等の作家がたくさんいらっしゃいます。宮宿商店街が閑散としているので、アトリエ兼ギャラリーの感じで創作を発表できる場があればいいと思っいます。歩きながら鑑賞できるアートロードができないものかなと思っいます。

**町長** よその子を叱るっていうこともなくなってきました。そういう話が出てくるのは嬉しいですね。

**斎藤** 先日のイベントでは、シャッターにみんなで一つの絵を描いてみました。写真映えるようなスポットをつくるのが狙いです。活動を通して関わってくれた子どもたちが自慢できるものがほしいんです。「俺らの町は、こんな面白いことできるんだぜ」って自慢できるようにしていきたいです。

**阪野** それでは結びに、5期目に突入された町長が考える住み続けたい町についてお願いします。

**町長** これまで人口が集中することが近代化と言われてきましたが、コロナ禍で人口が集中することが必ずしも良いことばかりではないということが示されました。都会より朝日町の方が人間らしい生活を送ることができる場

所だと思っ直される機会なのかなと思っっています。それらを踏まえて今後の新しい町の在り方を考えていく必要があると考えています。本日お聞きしたことが様々なつながりとなって広がっていくことを期待し、そして町も積極的に応援していきます。みなさんのような朝日町を愛する若い方がいることをとても頼もしく感じます。ありがとうございます。



ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます！



## 「郷土 Yamagata ふるさと探究コンテスト」で大賞を受賞

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302



▲発表の様子。映像には地域の先生たちが紹介されています



▲大賞を受賞し、誇らしい表情を浮かべるみなさん

県教育委員会が主催し、県内小中高生がふるさとの魅力を発表する「郷土Yamagata ふるさと探究コンテスト」の最終審査会が11月28日、遊学館（山形市）で行われました。審査の結果、朝日中学校1年生による「Search for ASAHII〜朝日町を知る〜」が中学生の部で最優秀賞に当たる「ふるさと探究大賞」に選ばれました。

生徒たちは「地域を知る」をテーマに、地域とつながり、地域の良さを再発見することを目指し、今年は総勢35人もの地域の先生から協力をいただき、1学年50人の生徒それぞれが決めた個人探究テーマのもと学びを進めてきました。最終審査会では学年自治会役員6人がおそろいの紅白ボーダーの法被姿で発表を行い、見事最優秀賞を勝ち取りました。自治会長の佐久間陽菜乃さん（栗木沢）は「短期間で準備でしたが、自分たちが探究してきたことを大舞台で十分に表現することができた」と語っていました。

## 令和2年度 第2回学校運営協議会「熟議」の報告

「コミュニティスクール」通信

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302

コミュニティ・スクールがスタートして3年目になり、地域と学校が目指す子ども像や課題等を共有し、連携・協働による学校・地域づくりをさらに推進しています。今回は第2回学校運営協議会での話し合いの様子を紹介します。学校ごとに設定したテーマについて、学校と委員の皆さんが意見交流を行いました。

### ▶朝日町立宮宿小学校 令和2年 9月24日（木）

【テーマ】「家庭・地域と学校が連携し、子どもの見守り体制をどのように整備していくか」  
～あいさつ運動や地域学習の推進～

- ・「かぼちゃっ子見守り隊」募集について、学校から広報があり入りやすかった。「下校時間帯に庭の草取りをしながらでも大丈夫」という気軽な気持ちで、より多くの大人の目で子どもたちを見守ってきたい。
- ・見守り隊に登録していなくても、地区民上げて「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」の声かけを普段から行っていくことが大切である。



### ▶朝日町立西五百川小学校 令和2年 10月 9日（金）

【テーマ】「課題解決のために、家庭・地域と学校が連携して何ができるか」

- 最初に「自分の子どもを通わせたい学校」というテーマで、参加者全員が付箋に自分の考えを書いた。その後、大きな紙に付箋を貼りながら、意見交流を行った。
- ・あいさつが響く学校にするためには、学校だけでなく地区民上げてあいさつをがんばらなければならない。そのことを公民館だよりや学校だより等で発信していきたい。
- ・学校も、家庭も、地域も、スポ少も、子ども会も…、とにかく「あいさつ」を徹底して指導する。
- ・名前をつけたり、「今日も天気がいいね」など一言添えたりしてあいさつをするというスキルも身に付けさせたい。



### ▶朝日町立大谷小学校 令和2年 10月 9日（金）

【テーマ】「大谷っ子サポーターズクラブの運営状況と今後の活動予定について」

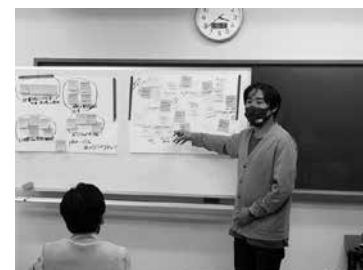
- ・1年目いいスタートが切れた。学校と地域とのつながりがどんどん広がっていくのいいと思う。
- ・家庭科の授業で地域の先生から裁縫を習ったことをうれしそうに話してくれた。たくさんの方から授業にかかわっていただき、子どもたちにはいい刺激になっている。
- ・通学路の草刈りを地域の方からしていただき、大変ありがたかった。
- ・協力団体と学校とをつなぐ際には、「久しぶりに学校へ来てみませんか？」「子どもたちが待っていますよ」と負担を感じないように依頼している。その後、詳細について教頭先生から連絡があることを伝えている。（北部公民館長）



### ▶朝日町立朝日中学校 令和2年 10月 9日（金）

【テーマ】「中学校における地域住民の学校参加の仕方について」

- ・子どもたちが地域の祭りや行事、防災訓練などに積極的に参加し、地域住民と交流し一緒に学ぶ機会を大切にしたい。
- ・現在行っているアルミ缶回収や福祉施設との交流、伝統芸能の学習、キャリアスタートなどを継続していく。
- ・学校として、地域住民からしていただきたいことや教えていただきたいことなどを積極的に発信していかないと、連携・協働は生まれない。その結果として、地域にも利点が生まれるという視点をもちたい。



## 朝日町豪雪対策本部が設置されました

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



雪の重みで木が倒れた町道猿田線

12月21日、立木地区で12センチメートルの積雪があり、町内でも落雪が原因と思われる

## 町内小中学校と保育園へリンゴを贈呈

■農林振興課 農林振興係 ☎67-2114



鈴木町長と朝日中学校代表のみなさん

12月14日、コロナ禍における町内産の農作物消費拡大、特産品のPR等を目的に、町は町内小中学校と保育園に1人当たり4個の計約2,600個のリン

ゴを贈呈しました。この日は朝日中学校で贈呈式が行われ、代表の生徒5人へ鈴木町長からリンゴが手渡されました。受け取った佐藤慧典さん（新宿）は「3年生は受験があるので、リンゴを食べて体調を崩さぬように頑張りたいと思います」と感謝を述べました。式の終わりに、生徒たちから鈴木町長へ、サプライズで手づくりのクリスマスリースが贈られました。（12頁関連記事）

死亡事故が発生したため、生活への影響が予想される事態となったことから、同日午前8時30分に豪雪対策本部（本部長：鈴木町長）を設置しました。町民のみなさんには、屋根の雪下ろしや除雪作業中の事故防止、果樹等農作物の適正管理をお願いします。また、特に高齢の方や一人暮らし世帯など、除雪や日常生活でお困りの際は、担当の民生児童委員や区長までご相談ください。





▲コロナ禍のため向かい合わず、一方を向いての給食となっています



12/18

この町ならではの食材を子どもたちへ

## 「町特産ダチョウ肉」のふるさと給食

町のりんご等をエサに町内で飼育されたダチョウ肉（オーストリッチ）を取り入れた「ふるさと給食」が12月18日、町内小学校で提供されました。地元食材・郷土料理のPRと、地産地消推進のため、毎月19日の「食育の日」にちなんで実施されているもの。今回は、ダチョウ肉と豚肉のチリビーンズとして提供されました。宮宿小学校の今井京士郎くん（新宿）は「いつも食べている肉とまた違った味で美味しかったです」と話してくれました。



◀好きな色のラメを選んで飾りとともに洗濯のりと水を入れて完成

12/19

身近な材料でオリジナルスノードームを作る

## 中部キッズクラブ

中部地区の子どもたちを対象にした体験講座「中部キッズクラブ」が創遊館で行われ、宮宿小学校の児童16人がスノードーム（透明な容器の中でキラキラと光る雪を模したものが舞う置物）を作りました。安藤美智子さん（松原）が講師となり、ビンの中に入れる飾りを作るところから手づくりしていきました。参加した多田朱里さん（本町）は「スノードームを作るのは難しそうだったけど、やってみたら思ったよりも簡単で楽しかったです」と大満足の様子でした。

12/20

大好きなラーメンを自分の手で作る

## ドキドキ探検隊「中華めんを打って食べよう」

12月20日、「ドキドキ探検隊達人倶楽部（鈴木直幸代表）」が企画・運営する北部公民館事業「中華めんを打って食べよう」が秋葉山交遊館で行われ、北部地区の小学生3人が参加しました。そば打ち名人の西田和之氏（大江町）を講師に招き、中華めん打ちを体験。子どもたちはなかなかまとまらない生地や大きい包丁での切り作業に苦戦しつつも楽しみながら作業にあたりました。達人倶楽部のみなさんの協力もあり、見事な中華めんを完成させ、打ちたての味を堪能しました。

12/20

新年に神様を迎えるための目印づくり

## 門松づくり教室

12月20日、町内の小学生とその保護者を対象とした「門松づくり教室」が宮宿公民館で行われ、約20人が参加しました。様々な地域活性化事業に取り組んでいる（一社）アップルランドが主催し今年で3年目の開催となりました。講師は、趣味で門松づくりをしている古川征一さん（立木）が担当しました。竹の周りに松の枝や南天などを飾り付け、マイ門松を製作。参加した子どもたちは、「思っていたよりも上手くできました。玄関に飾りたいと思います」と話していました。



◀▲古川さんの指導のおかげで見事な作品ができました



◀サンタの人形もフェルトで手作りです

12/3

毎年大人気のクリスマスリース

## 朝日中こだま学級クリスマスリース販売

12月3日、道の駅あさひまち「りんごの森」で朝日中学校特別支援学級「こだま学級」の生徒が、手づくりのクリスマスリースを販売しました。畑や花壇で生徒自らが育てたサツマイモのつるや花、校内で集めた木の実など材料はほとんど自前で用意して制作しているもので、道の駅での販売は5年目。そのクオリティの高さから町内外に多くのファンがいます。今年は流木を使用したリースも新たに増え、多くの来客者が足を止めて購入していました。



▶完成したトレイと笑顔のみなさん



12/5

日々の生活に彩りを添える手作りトレイ

## 軽銀で作るキャンドルトレー

12月5日、創遊館で草木染金属工芸作家の牧野広大さん（立木）を講師に迎え、町教育委員会が主催する「軽銀で作るキャンドルトレー」が行われました。町中央公民館文化講座「くらしに彩りを。」全4講座の中の一コマ。この日は町内外から8人が参加し、アルミの板をハサミで切るところから始め、金槌で叩いたり釘で模様をつけたりと約2時間かけてキャンドルトレーを作りました。参加者たちはアルミを叩く音に驚きつつも、後半にはすっかり音に慣れ、楽しそうに作業に没頭していました。

12/6

安全・安心な生活環境を目指して

## 町道雪谷線道路改良工事完成式典

雪谷地区と助ノ巻地区を結ぶ町道雪谷線道路の改良工事完成式典が12月6日、完成した道路の上で行われました。同路線は過去に豪雨等の影響により最上川の水位が上昇し、道路が冠水することで通行不可となる事態がありました。地域の方からの要望を受け、町の防災対策強化として平成27年度から今年度まで改良工事を実施し11月に完成となりました。参加した地域の方は「これまでは大雨が降ると心配でしたがこれで安心して過ごせます」と笑顔で話っていました。



▲地域の方や関係者による渡り初め

12/8

12月は納税推進強調月間、税金の大切さを学ぶ

## 町内小学校で租税教室を開催

寒河江税務署と町が主催する租税教室が、12月8日に西五百川小6年生を対象に行われ、税の基礎知識を学びました。講師は町税務町民課の職員が務め、児童たちは身近な学校の教科書代や授業料などを例に、税金の使い道を学習。授業を受けて児童たちは「税金は大切なものだと思ってはいたけど、今回の教室で改めてなくなると大変なことになるのだと学びました」と話しました。大谷小学校は11月5日に授業を終え、宮宿小学校は1月14日を予定しています。



▲税金にまつわる3択クイズを出題  
▶租税教室恒例の1億円の模擬紙幣は子どもたちに大人気でした







### プロラグビープレイヤー・田中史朗選手が登場！第32回生涯学習推進大会

各地区の公民館、文化教室などの団体が日頃の生涯学習活動の成果を発表・展示する「朝日町生涯学習推進大会」が開催。記念講演では、プロラグビープレイヤーの田中史朗選手によるトークショーが行われ、大いに賑わいました（2/23）。



### Asahi 自然観 30 周年記念！スキー場まつり

気持ちの良い青空の下、Asahi 自然観スノーパークに町内外の若者や親子連れなど、多くの来場者でにぎわいました。（1/26）。



### 春の雪山トレッキング

Asahi 自然観から「サイツチ峰」を目指す約 3 km のトレッキングコースを歩き、頂上からの絶景を楽しみました（3/1）。



### 町内各小学校で入学式

今年は大谷小学校へ取材訪問。新入生たちは新たな学校生活への大きな期待を胸に堂々とした態度で入学の日を迎えていました（4/7）。



### 水本地区の菜の花が見ごろ

今年度で最後の年となった水本地区の菜の花畑。澄み渡る青空とのコントラストが美しく咲き誇っていました（5/14）。



### 町内各地の桜が咲きました

今年の桜は暖冬による影響で、例年よりも早い時期に見ごろを迎えました。庁舎の窓ガラスからの反射光により町内で 1 番早く開花するといわれる役場庁舎南側の桜。この桜が満開となったこの日、町内各地の桜の様子を撮影しました（4/17）。

朝日町ホームページ内

「まちの写真館」で振り返る

2020 年

朝日町ホームページの「まちの写真館」（右 QR コードを参照）では、町内のタイムリーなニュースや、季節ごとの自然風景、昔ながらの文化や慣習など、町内の様々な話題を取り上げ、たくさんの写真で紹介しています。まちの写真館は平成 19 年度からのバックナンバーもご覧いただけます。ぜひご覧ください。



### あさひ保育園「里山探検」

保護者のみなさんが整備した山道を登る子どもたち。葉っぱや木の実を拾ったり、走り回ったりと自然のなかで遊びました（6/24）。



### 国際交流イベント（BBQ）

アメリカ文化を楽しみながら学ぶ国際交流イベントが創遊館で行われ、子どもたちが様々な遊びや料理に挑戦しました。（7/4）。



### 7 月豪雨 町内被害状況

山形県内で梅雨前線や低気圧の影響で記録的な豪雨に見舞われました。朝日町では幸いにも人的被害はありませんでしたが、町内全域にわたり道路の冠水や土砂崩れによる通行止め、河川の氾濫、農地被害が発生しました。（7/28）



### あさひ十人展 in 古民家

新宅今井家「宿のやかた」（前田沢）で、「あさひ十人展 in 古民家」が開催。書道や陶芸などそれぞれの分野で活躍している町内の芸術家の作品が一堂に会しました。開催期間中は町内外から多くの人が訪れ、展示物を興味深く眺めていました（9/5）。



### 朝日町ワイン「安全祈願祭」

今年も良質なブドウが収穫できたことに感謝し、仕込み作業の安全と質の高いワインの醸造を祈願する祈願祭が行われました（8/7）。



### 第 40 回朝日町りんご品評会

和合地域交流センター「友和館」にて第 40 回朝日町りんご品評会が開催。今年も高品質の町産りんごが並びました（11/20）。





# Asahi 自然観スノーパーク シーズンオープン!

Winter Season ▶ 2020.12.19 ~ 2021.03.14

12月19日、「Asahi 自然観スノーパーク」がオープンしました。この日は朝から雪が降る中、オープンを待ちわびた多くのスキーヤーやスノーボーダーたちが訪れ、パウダースノーの感触を楽しんでいました。Asahi 自然観では、今シーズンも盛りだくさんのサービス企画・イベントを用意しています。ぜひご来場ください。



## 今シーズンのイベント予定

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1月1日(金)  | お正月イベント        |
| 11日(月)   | スキーの日フェスティバル   |
| 31日(日)   | 節分イベント         |
| 2月7日(日)  | スキー場まつり        |
| 14日(日)   | バレンタインイベント     |
| 28日(日)   | ひなまつりイベント      |
| 3月14日(日) | ファイナルデーお楽しみ抽選会 |

8:30 ~ 16:30

※天候により変更の場合があります。  
※3/8 ~ 12は全リフト運休です。

リフト  
営業時間

## お得なサービス企画

|            |                                          |
|------------|------------------------------------------|
| スキーこどもの日   | 毎週土・日、祝日・年末年始(12/23 ~ 1/8)は小学生のリフト1日券が無料 |
| レディース DAY  | 毎週土曜は中学生以上の女性のリフト1日券が1,000円              |
| メンズ DAY    | 毎月第3土曜日は、中学生以上の男性のリフト1日券が1,000円引き        |
| シニアデー      | 毎週月曜日は60歳以上の方のリフト1日券が1,000円(祝日除く)        |
| 雪マジ! 19・20 | 19歳→リフト1日券が全日無料<br>20歳→リフト1日券が全日半額       |

▶ 問合せ先 (Asahi 自然観)

☎0237-83-7111 <http://www.shizenkan.jp/>

あけまして  
おめでと〜うございます

皆さまにとって、本年が素晴らしい年でありますよう、広報委員一同、心からご祈念申し上げます。

広報委員長 井上 幸弘(西船渡)  
同副委員長 澤田 隆幸(大町)  
広報委員 安藤 尚之(真中)  
佐直 由紀(本町)  
村山 夏渚(大町)  
登坂 尚高(八ツ沼)  
清野 文一(四ノ沢)  
堀 瑞生(中沢)  
佐藤 修(政策推進課)  
阿部 祐子(政策推進課)  
鈴木 貴典(政策推進課)

## 【表紙の写真】

12月18日、降り続いてきた雪がやみ、晴れ間がのぞきました。「チャンスは今しかない」とばかりに外へ飛び出し、町内各地を撮影。この写真は松本亭一農舎の裏に回ったところから午前9時過ぎ頃に最上川を撮った一枚です。この後も、町内を巡ったのですが、あつという間に雲が出てきて青空は消えてしまいました。昨年は記録的な少雪でスキー場等では困ったことになりましたが、今年は大量の降雪となり、自然は人間の都合のいいようにはいかないのだと改めて思いました。